



®環境省

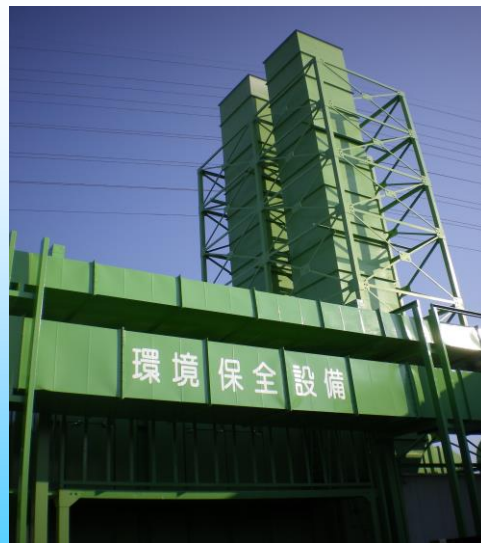
エコアクション21

認証・登録番号 0001689

平成30年5月11日発行
第12版

平成29年度 環境活動レポート

(活動期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日)



- ・高い技術が信頼をコーティング
- ・効率とスピードを実現する自動化塗装ライン

本社工場



- ・明日の介護
- ・『自分でできる』を取り戻す

介護事業部



株式会社 AOI

1. 会社概要

1-1. 会社概要

会社名 : 株式会社 AOI
代表取締役氏名 : 森 正州
本社所在地 : 静岡県静岡市清水区楠459
DSC千代田所在地 : 静岡市葵区千代田6丁目24番13号
DSC新川所在地 : 静岡市駿河区新川2丁目5番35号
環境管理責任者 : 原 潤一郎
連絡担当者連絡先 : TEL(054)345-7320/FAX(054)347-1711
" : Email info@aoitosou.com
設立 : 1963年3月18日
資本金 : 1325万円
従業員数 : 42名(従業員26名、パート16名)
地域指定 : 準工業地域
敷地面積 : 本社 3385㎡ DSC千代田 297㎡ DSC新川 408㎡
建物面積 : 本社 1848㎡ DSC千代田 165㎡ DSC新川 164㎡
延床面積 : 本社 2049㎡ DSC千代田 165㎡ DSC新川 164㎡

1-2. 沿革

: 1963年 3月、資本金800万円にて創業
: 1974年 7月、資本金1325万円に増資
: 1982年12月、静電粉体塗装ラインを新設
: 2001年 7月、樹脂製品塗装ラインを新設
: 2006年 8月、部品組立ラインを新設
: 2007年12月、試作塗装室を新設
: 2012年 3月、かしめ作業場を新設
: 2012年 6月、「株式会社 AOI」に社名変更
: 2013年 3月、DSC千代田新設
: 2014年 6月、居宅介護支援事業所新設
: 2014年 7月、DSC新川新設
: 2018年 3月、DSC千代田,AOIケアマネジメント新川、閉鎖 現在に至る

1-3. 製品概要 : 金属・非鉄金属・樹脂製品の塗装業、及び組立業
: 通所介護・介護予防通所介護、居宅介護支援事業

1-4. 事業形態

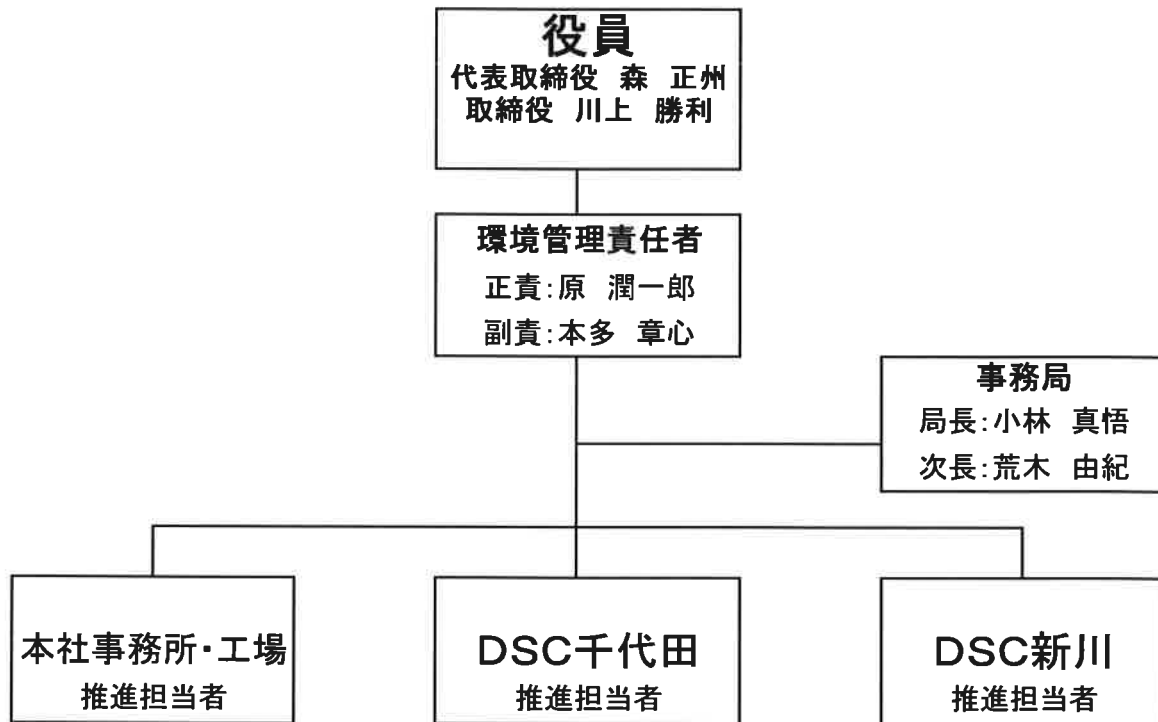
事業年度 : 4月～3月
年間稼働日数 : 261日
就業形態 : 1シフト
本社工場就業時間 : 8時15分～17時00分
介護事業部就業時間 : 8時00分～17時15分

1-5. 対象範囲

本社事務所、工場、DSC=デイサービスセンター(千代田、新川)
AOIケアマネジメント新川

(1) 社長は環境経営システムを運用・実施する実施体制の構築する。

図 4. 5(1) 環境経営システムの実施体制



(2) 社長は実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の通り定める。

①社長

- ・環境方針の策定、環境経営マニュアルの承認をする。
- ・環境管理責任者の任命をする。
- ・環境経営システムの構築と経営資源(ヒト・モノ・カネ)の準備。
- ・システム全体の評価、見直し。
- ・緊急事態発生時の統括をする。

②環境管理責任者

- ・環境経営システムを実施運用し、維持管理をする。
- ・環境目標、環境活動計画の立案をする。
- ・環境活動計画の推進状況把握と社長への報告をする。
- ・該当環境関連法規等の把握と管理をする。
- ・環境経営システムに関する規定類の整備をする。
- ・環境関連教育、緊急事態を想定した訓練を計画し実施する。
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告をする。
- ・社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供する。
- ・環境経営マニュアルの作成並びに見直しをする。

③推進担当者

- ・環境活動計画の推進をする。
- ・該当環境関連法規等の遵守状況を確認する。
- ・教育と訓練を実施する。
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その応急処置と是正処置を報告する。
- ・監視・測定、記録管理をする。
- ・派遣社員の教育

④事務局

- ・環境管理責任者の役割補助。
- ・各推進担当者等からのデータ収集と取りまとめ
- ・書類、文書、記録の案、作成、管理

3. 環境方針

基本方針

株式会社AOIは、製造事業が環境負荷の大きい業種と認識して、地球環境の保全推進に努力する。その環境保全推進の為には、介護事業を併せた中で、エコアクション21の活動、行政施策への協力を実施して、事業の合理化、及び資源の有効利用活動を図る。

行動指針

1. 当社は、静岡市と『地球温暖化防止対策のための協働協定』を締結し、それに基づき策定した『二酸化炭素排出削減計画書』を積極的に推進する。
2. 当社は、製造事業を営む上で、中小企業では先駆けて設置した排気処理装置で環境の保全に努め、全従業員と地域社会に対して環境責任を全うする。
3. 当社は、介護事業を営む上で、利用者様お一人一人の尊厳に共感した最良で効率的なケアサービスに努め、利用者様と地域社会に対して環境配慮を全うする。
4. 当社は、産業廃棄物処理委託契約先の実地確認をして、処理の确实性を図る。
5. 当社は、資源の有効利用の推進を図りながら廃棄物の削減、及び減量化を図る。
6. 当社は、水の有効利用の推進を図りながら使用量を削減する。
7. 当社は、化学物質の適正利用の推進を図りながら使用量を削減する。
8. 当社は、エコマーク商品、リサイクル製品、省エネ製品など優先的にグリーン購入をする。
9. 当社は、環境関連の法規制、及び環境要求事項を遵守し、全従業員の環境保全に対する意識向上、及び知識の習得を徹底する。
10. 当社は、地域社会の一員として環境関連行事には積極的に協力し、また社外に対してはホームページなどを通して環境方針を公開する。

制定 平成 18 年 10 月 20 日

改定 平成 27 年 4 月 1 日

株式会社 AOI

代表取締役 森 正州

環境目標推進表

| 環境目標項目 | 推進部門 | | 基準値 H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 |
|--------------------------------------|------|------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | | | | | | |
| 二酸化炭素排出削減(省エネルギー) | | | | | | | | |
| 二酸化炭素排出量 単位 kg-CO ₂ | 製造部門 | 目標値 | — | -1.0% | -2.0% | -3.0% | -4.0% | -5.0% |
| | | 実績値 | 511,773 | 506,655 | 501,538 | 496,420 | 491,302 | 486,184 |
| 消費電力の低減 単位 kWh (稼動1時間当り) | 製造部門 | 目標値 | — | -1.0% | -2.0% | -3.0% | -4.0% | -5.0% |
| | | 実績値 | 126.92 | 125.65 | 124.38 | 123.11 | 121.84 | 120.57 |
| LPG使用量の低減 単位 Kg (稼動1時間当たり) | 製造部門 | 目標値 | — | -1.0% | -2.0% | -3.0% | -4.0% | -5.0% |
| | | 実績値 | 45.60 | 45.14 | 44.68 | 44.23 | 43.77 | 43.32 |
| CO ₂ 排出系数 | | | | 0.518 | — | — | — | — |
| 排水量削減(節水) | | | | | | | | |
| 排水 単位 m ³ (稼動1時間当り) | 製造部門 | 目標値 | — | -2.0% | -3.0% | -4.0% | -5.0% | -6.0% |
| | | 実績値 | 4.50 | 4.41 | 4.36 | 4.32 | 4.27 | 4.23 |
| グリーン購入 | | | | | | | | |
| 積極的に購入を推進する 単位 種 | 目標値 | — | +1 | +2 | +3 | +4 | +5 | |
| | 購入種 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | |
| 生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目 | | | | | | | | |
| 粉体塗料使用量削減 単位 g (生産総本数当たり) | 目標値 | — | -0.5% | -1.0% | -2.0% | -3.0% | -4.0% | |
| | 実績値 | 7.80 | 7.76 | 7.72 | 7.64 | 7.56 | 7.48 | |

※購入電力のCO₂排出係数0.518kg-CO₂/kWh

付表5-01

環境目標推進表

| 環境目標項目 | 推進部門 | 基準値 H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 |
|--------------------------------------|------|--------------|----------|-------|-------|-------|--------|
| | | | 汚泥排出量の削減 | | | | |
| 前処理薬品使用量低減 単位 kg (汚泥排出量1kg当たり) | 目標値 | — | -1.5% | -3.0% | -6.0% | -9.0% | -12.0% |
| | 実績値 | 0.40 | 0.39 | 0.38 | 0.37 | 0.36 | 0.35 |
| 化学物質使用量の削減 | | | | | | | |
| 金属ライン溶剤塗料 使用量低減 単位 g (生産1本当たり) | 目標値 | — | -0.5% | -1.0% | -1.5% | -2.0% | -2.5% |
| | 実績値 | 8.20 | 8.15 | 8.11 | 8.07 | 8.03 | 7.99 |

5.環境目標推進表

| 環境目標項目 | 推進部門 | | 基準値 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 |
|-------------------------------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | H27年度 | | | | | |
| 二酸化炭素排出量削減 | | | | | | | | |
| DSC千代田 センター内照明確認 単位 kWh | | 目標値 | — | -0.1% | -0.2% | -0.3% | -0.4% | -0.5% |
| | | 実績値 | 640.0 | 639.4 | 638.7 | 638.1 | 637.4 | 636.8 |
| DSC新川 センター内照明確認 単位 kWh | | 目標値 | — | -0.1% | -0.2% | -0.3% | -0.4% | -0.5% |
| | | 実績値 | 640.0 | 639.4 | 638.7 | 638.1 | 637.4 | 636.8 |
| | | 実績値 | | 588.3 | 588 | | | |

| 環境目標項目 | 推進部門 | | 基準年 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 |
|---------------------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | H27年度 | | | | | |
| 二酸化炭素排出量削減 | | | | | | | | |
| DSC千代田 ガソリンの有効利用 | | 目標値 | — | -1.0% | -2.0% | -3.0% | -4.0% | -6.0% |
| | | 実績値 | 0.89 | 0.88 | 0.87 | 0.86 | 0.85 | 0.84 |
| DSC新川 ガソリンの有効利用 | | 目標値 | — | -1.0% | -2.0% | -3.0% | -4.0% | -6.0% |
| | | 実績値 | 0.89 | 0.87 | 0.87 | 0.86 | 0.85 | 0.84 |
| | | 実績値 | | 0.65 | 0.63 | | | |

5. 環境活動計画の取組結果と評価

全体の取組評価(環境管理責任者総括コメント) (28年度:平成28年4月~平成29年3月)

平成29年度は引き続き全体像が把握しやすい、原単位管理と絶対値としての二酸化炭素排出量を加味した目標値を設定した。また29年度は塗装不良削減をおおきなテーマとして活動した。エアによるラインコンベアの清掃、塗料タンクへの塗料供給時、網(フィルター)を通す等様々なアイデアが従業員から生まれた。今後も無駄を無くす様、意見を出し合い環境活動に取り組んでいきたい。

| 環境目標と環境活動計画の項目 | 現在までの取組結果 | 評価 |
|---|------------------------|---|
| <p>消費電力の低減 H28年度環境目標 稼働1時間当たり</p> <p>実績値 123.11kWh 124.00kWh</p> <p>環境目標に対し 1%</p> <p>①工場照明の有効利用 ②設備の運転管理の見直し ③デマンド監視装置による最大電力の抑制</p> | <p>稼働1時間当たりの消費電力量</p> | <p>評価: ×</p> <p>【環境管理責任者コメント】 29年度は大きな電力を消費する樹脂ラインの稼働が前年度より大幅に増えた為、目標達成には至らなかった。今後も樹脂ブース稼働時間が増える傾向の為目標値の見直しを行う。</p> |
| <p>LPG使用量の低減 H28年度環境目標 稼働1時間当たり</p> <p>実績値 44.23kg 43.37kg</p> <p>環境目標に対し -1.0%</p> <p>①乾燥炉の排気量の見直し</p> | <p>稼働1時間当たりのLPG使用量</p> | <p>評価: ◎</p> <p>【環境管理責任者コメント】 28年度同様、製品の大きさに合わせて乾燥炉扉の開閉幅を変える等の活動により目標値を達成する事が出来た。また前処理槽の熱配管に付着しているスラッジの除去作業も目標達成の大きな要因と考える。</p> |
| <p>化学物質使用量の削減 H28年度環境目標 生産1本当たり</p> <p>実績値 8.12g 7.91g</p> <p>環境目標に対し -1.0%</p> <p>①金属ライン溶剤塗料使用量削減</p> | <p>化学物質使用量</p> | <p>評価: ◎</p> <p>ブツ不良率削減の為に塗装ブースの給気、排気のバランスを常に意識し、良い塗装環境で生産した事で目標達成する事が出来た。今後も常に良い状態で作業を行っていく様意見を出し合っていく。</p> |

5. 環境活動計画の取組結果と評価

| | | |
|---|-----------------------|---|
| <p>排水量の低減 H28年度環境目標 稼働1時間当たり</p> <p>実績値 4.32m³ 4.73m³</p> <p>環境目標に対し 0.9%</p> <p>①オーバーフロー水の有効利用</p> | <p>稼働1時間当たりの排出量</p> | <p>評価: ◎</p> <p>【環境管理責任者コメント】 消費電力同様、大量の水が蒸発により消費してしまう樹脂ブースの稼働時間が大幅に増加した為、目標値を達成する事が出来なかった。</p> |
| <p>製品サービスに関する環境配慮 H28年度環境目標 生産総本数当たり</p> <p>実績値 7.72g 8.77g</p> <p>環境目標に対し 0.9%</p> <p>①粉体塗料使用量の削減</p> | <p>粉体使用量の削減</p> | <p>評価: ×</p> <p>【環境管理責任者コメント】 塗料タンクへの塗料供給時、網(フィルター)を通しブツ不良の削減等の不良率低下考え活動したが、目標を達成出来なかった。今後、更なるアイデアを出し合っていく。</p> |
| <p>グリーン購入 H28年度環境目標</p> <p>27種</p> <p>実績値 28種</p> <p>環境目標に対し +1種</p> <p>①グリーン購入種の増加</p> | <p>グリーン購入種の増加</p> | <p>評価: ◎</p> <p>【環境管理責任者コメント】 安定した活動を行った事で29年度も目標達成する事が出来た。今後も積極的に活動を行い購入種を増やしていく。</p> |
| <p>廃棄物排出量削減 H28年度環境目標</p> <p>0.38kg</p> <p>実績値 0.38kg</p> <p>環境目標に対し 0%</p> <p>①前処理薬品の使用量削減</p> | <p>稼働1時間当たりの汚泥排出量</p> | <p>評価: ◎</p> <p>【環境管理責任者コメント】 毎朝、前処理薬液濃度を測定、調整を行う作業が習慣づけられている為、目標を達成する事が出来た。今後も環境意識を高く持ち継続していく。</p> |

5. 環境活動計画の取組結果と評価

| | | |
|--|--------------------|--|
| <p>H28年度環境目標 消費電力 638.7</p> <p>実績値 655.3</p> <p>環境目標に対し 1.0%</p> | <p>電力 DSC千代田</p> | <p>評価: ×</p> <p>【環境管理責任者コメント】 28年度より認証登録範囲に入った介護事業部での活動は、二酸化炭素排出量を削減をテーマとした消費電力削減であった。二年目という事で、環境意識が高まったが目標達成には届かなかった。</p> |
| <p>H28年度環境目標 消費電力 638.7</p> <p>実績値 588.0</p> <p>環境目標に対し -1.1%</p> | <p>電力 DSC新川</p> | <p>評価: ◎</p> <p>【環境管理責任者コメント】 DSC千代田と同じく28年度より認証範囲に追加され、同じく消費電力削減活動を行った。こちらは前年同様、目標達成する事が出来た。今後、更に環境意識を高く持ち活動を行っていく。</p> |
| <p>H28年度環境目標 ガソリン使用量 利用者一人当たり 実績値 0.80L</p> <p>環境目標に対し -1.1%</p> | <p>ガソリン DSC千代田</p> | <p>評価: ◎</p> <p>【環境管理責任者コメント】 急停止、急発進に注意し活動を行った事で、目標を達成する事が出来た。</p> |
| <p>H28年度環境目標 ガソリン使用量 利用者一人当たり 実績値 0.63L</p> <p>環境目標に対し -1.4%</p> | <p>ガソリン DSC新川</p> | <p>評価: ◎</p> <p>【環境管理責任者コメント】 DSC千代田同様、目標を達成する事が出来た。今後も安全運転を心がけ、意識を高く持ち、環境負荷を減らしていく。</p> |

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 (法令・条例等の名称の ©印:法律 ○印:都道府県条例 ●印:市町村条例 ▲印:その他の要求事項)

| No | 法令・条例等の名称 (最終改正日) | 遵守内容・遵守基準等 | 該当施設・設備・物質・作業・製品等 | 遵守状況 |
|----|--|---|---|----------------|
| 1 | ◎大気汚染防止法 ○静岡県生活環境の保全 に関する条例 | ・県条例の一般粉じん発生施設の 構造等に関する基準 | ・金属塗装ライン:塗装ブース 2基 ・樹脂塗装ライン:塗装ブース 2基 ・補修塗装設備:塗装ブース 1基 ・上記塗装ブースの排気は集中排気 処理装置で処理 | ○ |
| 2 | ◎道路運送車両法 | ・日常点検整備 ・定期点検整備 ・点検整備記録簿 ・継続検査 ・自動車検査証の備付け義務 | ・本社 4台クワウン シルフィー ADバン ファイター ・千代田 4台シエント セレナ 3台 ・新川 5台デイズ 2台 セレナ 3台 | ○ |
| 3 | ◎水質汚濁防止法 ○静岡県生活環境の保全 に関する条例 ●静岡市清流条例 | ・排水基準:奥駿河湾水域(巴川) ・排水水質測定の実施 1回/年 | ・塗装前処理設備:1基 | 5/17実施 問題無し |
| 4 | ◎浄化槽法 ○静岡県生活環境の保全 に関する条例 ○静岡県浄化槽法施行細則 | ・浄化槽管理者 ・保守点検 3回/年 ・清掃 1回/年 ・法定検査 1回/年 (外観検査・水質検査・書類検査) | ・処理方式/21人槽 ・小林 真悟 ・登録業者:㈱カンリ ・許可業者:㈱カンリ ・指定検査機関: (財)静岡県生活科学検査センター | ○ |

| No | 法令・条例等の名称の名称 (最終改正日) | 遵守内容・遵守基準等 | 該当施設・設備・物質・作業・製品等 | 遵守状況 |
|----|---|---|---|------|
| 5 | ◎騒音規制法 ○静岡県生活環境の保全 に関する条例 | <ul style="list-style-type: none"> 規制基準:第3種区域 ☆近隣住民と作業時間について話し合い済み 作業時間 7:00~20:00 日曜日の作業はなし | <ul style="list-style-type: none"> 送風機 27基 スプレー式前処理装置:2.2kw 水切乾燥炉:5.5kw 熱風乾燥炉:5.5kw×3 強制給気装置付水洗ブース:5.5kw×2 集中排気装置:37.5kw/30kw 工場内排気装置:17.5kw 乾燥炉排気装置:3.7kw 樹脂塗装ブース:18.5kw/7.5kw×3 樹脂塗装ブース:15kw/7.5kw×3 樹脂熱風乾燥炉:5.5kw×3 手直場:2.2kw 粉体ブース:5.5kw×2/11kw 補修ブース:5.5kw 圧縮機 3基 -22kw×2/2.75kw 圧縮機 3基 -22kw×2/2.75kw | ○ |
| 6 | ◎振動規制法 ○静岡県生活環境の保全 に関する条例 | <ul style="list-style-type: none"> 規制基準:第2種区域の1 ☆近隣住民と作業時間について話し合い済み | | ○ |
| 7 | ◎悪臭防止法 ○静岡県生活環境の保全 に関する条例 | <ul style="list-style-type: none"> 規制基準:臭気指数10(敷地境界) 脱臭処理装置で処理 集中排気処理装置 公害防止統括者 公害防止管理者水質関係 2種 | <ul style="list-style-type: none"> 塗装ブース5基の排気:集中排気処理装置で処理 塗装焼付乾燥炉2基の排気:脱臭処理装置2基で処理 公害防止統括者:森 正州 公害防止統括者代理人:原 潤一郎 公害防止管理者:森 正州 公害防止管理者代理人:松木好利 | ○ |
| 8 | ◎特定工場における公害 防止組織の整備に関する 法律 ○静岡県生活環境の保全 に関する条例 | | | ○ |

| No | 法令・条例等の名称 (最終改正日) | 遵守内容・遵守基準等 | 該当施設・設備・物質・作業・製品等 | 遵守状況 |
|----|---|--|---|--|
| 9 | <p>◎廃棄物の処理及び清掃に関する条例</p> <p>○静岡県生活環境の保全に関する条例</p> <p>○静岡県産業廃棄物適正処理指導要領</p> <p>●静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例</p> <p>●静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例</p> | <p>・収集運搬・処理を委託する場合は許可業者に委託する</p> <p>・収集運搬・処理を委託する場合は許可業者に委託する</p> <p>・委託契約は書面で行う</p> <p>・マニフェストの発行及び管理</p> <p>・前年度のマニフェスト公布状況を毎年6月30日までに報告</p> <p>保管基準の遵守 水銀含有物の適正</p> <p>・収集運搬・処理を委託する場合は許可業者に委託する</p> <p>・委託契約は書面で行う(種類・数量・性状等を通知)</p> <p>・マニフェストの発行及び管理</p> <p>・特別管理産業廃棄物管理責任者</p> <p>・帳簿</p> <p>・前年度のマニフェスト公布状況を毎年6月30日までに報告</p> <p>・産業廃棄物管理責任者の設置</p> <p>・産業廃棄物処理委託先の実施確認 1回以上/年 実施</p> | <p>・フジテックス(株)</p> <p>・(株)コーシンサービス</p> <p>・丸徳商事(有)</p> <p>・丸徳商事(有)</p> <p>・原 潤一郎</p> <p>・原 潤一郎</p> <p>・(株)コーシンサービス</p> <p>・丸徳商事(有)</p> | <p>4/24 報告済</p> <p>3/10確認済 2/27確認済</p> |
| 10 | ◎労働安全衛生法 | <p>・有機溶剤作業主任者</p> <p>・乾燥設備作業主任者</p> <p>・使用化学物質の安全データシート(SDS)</p> | <p>・森 正州</p> <p>・原 潤一郎</p> <p>・山本 清二</p> <p>・原 潤一郎</p> <p>・作業場に掲示</p> | ○ |

| No | 法令・条例等の名称 (最終改正日) | 遵守内容・遵守基準等 | 該当施設・設備・物質・作業・製品等 | 遵守状況 |
|----|--|--|--|------|
| 11 | ◎毒物及び劇物取締法 | <ul style="list-style-type: none"> 保管設備の施設・地震対策 在庫量 使用量の管理 表示(医薬用外毒物/医薬用外劇物) 飛散・漏出・流出・地下浸透の防止 空容器も同じ扱い SDSの内容を周知する 管理責任者 廃棄は専門の処理業者に委託 関係機関及び警察署へ速やかに連絡する | <ul style="list-style-type: none"> 対象物質:塗装前処理剤 ネオライト395A (一水素二弗化アンモニウム) 原 潤一郎 | ○ |
| 12 | ◎消防法 ●静岡市火災予防条例 ●静岡市危険物の規則 に関する規則 | <ul style="list-style-type: none"> 危険物の種類と量 危険物保安監督者 危険物取扱者 届出 | <ul style="list-style-type: none"> 屋内貯蔵所(指定数量の9.99倍) 第4類第1石油類 720ℓ 第4類第2石油類 6,390ℓ 少量貯蔵庫(指定数量の0.99倍) 第4類第1石油類 180ℓ 第4類第2石油類 450ℓ 原 潤一郎 森 正州 原 潤一郎 本多 章心 液化石油ガス 2,830 Kg | ○ |
| 13 | ◎高圧ガス保安法 | <ul style="list-style-type: none"> 消費に係る技術上の基準 LPガスバルクの管理 | <ul style="list-style-type: none"> LPガスバルク 2,830kg 保安責任者 山本清二 安全弁の使用期限 平成31年9月 バルク容器の使用期限 平成41年10月 | ○ |

| No | 法令・条例等の名称 (最終改正日) | 遵守内容・遵守基準等 | 該当施設・設備・物質・作業・製品等 | 遵守状況 |
|----|--|---|---|------|
| 14 | ▲静岡市との地球温暖化防止対策のための協同協定 | ①二酸化炭素排出削減計画書の作成と実行 ②二酸化炭素排出削減報告書の提出 | ①消費電力の低減活動 ②LPG使用量の低減活動 | ○ |
| 15 | フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (通称:フロン排出抑制法) | ①機器の点検の実施 1回/3ヵ月 ②漏えい防止措置/未修理機器への冷媒充填の禁止 ③点検・修理・フロン類の充填・回収等の履歴の保存 ・排気まで ④フロン類算定漏えい量の算定報告 ・第1種フロン類充填回収業者から充填・回収証明書の交付を受け漏えい量を算定 ・1年間にCO2換算1000ton以上漏えいした場合報告義務 ⑤機器廃棄時のフロン類回収の徹底 ・第1種フロン類充填回収業者に委託 ・フロン類の回収・再生・破壊に必要な費用の負担 ・行程管理表を交付 ・フロン類の回収・再生・破壊に必要な費用の負担 | ・本社 2台 事務所 RP80HA10 (1.8kw) 会議室 RP80HA10 (1.8kw) ・千代田 3台 リハビリ室 RP280HA10 (5.5kw) カフェテリア ERP112HA11 (2.5kw) 事務室 ERP80HA11 (1.8kw) ・新川 3台 リハビリ室 SRP140HA12 (2.5kw) カフェテリア SRP140HA12 (2.5kw) 事務室 SRP80HA12 (1.8kw) | ○ |

環境関連法規等の遵守状況の評価結果(平成30年3月31日 現在)
環境関連法規等の適用事項及び、遵守内容に対する逸脱はありません。
また関係者からの指摘、利害関係者からの訴訟も、過去3年間ありません。

7.平成30年度環境活動テーマと活動内容

☆消費電力の低減

- ①工場照明の有効利用
- ②設備の運転管理の見直し
- ③デマンド監視装置による最大電力の抑制
- ④センター内照明確認

☆LPGの使用量の低減

- ①乾燥炉排気量の見直し

☆排水量の低減

- ①オーバーフロー水の有効利用

☆廃棄物排出量の低減

- ①金属ライン前処理薬品の使用量削減

☆社員の環境意識の向上

- ①グリーン購入種の増加
- ②環境教育の推進
- ③工場内の5S

☆製品・サービスに関する環境配慮

- ①金属ライン粉体ブース用塗料使用量の削減

☆化学物質使用量の低減

- ①金属ライン溶剤塗料使用量の削減
- ②ガソリン使用量の削減

代表者による全体の評価及び見直しの結果

株式会社 AOI

代表取締役 森 正 州

(活動期間 : 平成29年4月 ~ 平成30年3月)

1. 全体の評価

作成 : 平成30年5月10日

29年度は、前年度に引き続き、原単位管理と絶対値としての二酸化炭素総排出量を加味した目標値を設定させた。また、中途採用と人事異動で指揮系統が変わる為、活動体制の一部変更を指示した。しかも合理化と改善を推進する品質会議では、新たなアイデアから削減に努力した点は、大いに評価できる。尚、介護事業部も含めて、積極的なグリーン購入の推進、単純焼却量や汚泥排出量などで環境への取組が充実していると評価できる。結果的には、29年度も積極的な環境活動が出来たと考えられるので、今後も環境負荷の低減への取り組みに期待したい。

2. 見直しおよび変更指示

| 項 目 | 評 価 |
|----------|---|
| 環境方針 | 二酸化炭素総排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量、製品に対する環境配慮、グリーン購入、環境教育、及び外部とのコミュニケーションなど、分りやすく記載した。また、27年度より介護事業部を環境活動の対象とする為に全面改定をした。 |
| 環境目標 | 20年度から導入した原単位管理を加味した目標値、更に、21年度は絶対値と二酸化炭素総排出量も追加したので、前年同様に29年度は環境配慮を重点項目に上げ、しかも、積極的にエネルギー使用量の削減をするように指示をした。また、29年度は前年同様に活動体制を改めた為、環境目標を一部見直すよう指示した。 |
| 環境活動計画 | 29年度も引き続き、従業員の取組別に、絶対値と二酸化炭素総排出量を比較対照する為、評価基準の再度の見直しを指示した。 |
| 環境経営システム | 引き続き、ガイドライン2009年度版を適用し、28年度に介護事業部を環境活動の対象とした為、全面的に環境経営マニュアルを見直すよう指示した。 |
| その他 | |

〈 全体評価のための個別評価 〉

| 項 目 | 評 価 |
|------------------------------|--|
| 環境負荷自己チェック | 生産状況を加味し評価する為、環境目標については、引き続き、原単位管理を採用した。尚、総製品生産量を前年度と比較すると、各塗装ラインともに減産した為、エネルギー、産業廃棄物の絶対量も減少傾向となった。 |
| 環境取組自己チェック | 積極的なグリーン購入の推進、各設備の廃棄物排出量の削減、及び介護事業部の節電で環境への取組が充実している。 |
| 環境目標達成状況 | 全体像を把握しやすい原単位管理を加味し、しかも絶対値を追加記入した結果、目標達成の状況が良く把握できた。また、前年同様、原単位的にも二酸化炭素総排出量の削減に大きく貢献する事ができた。 |
| 環境活動計画の達成状況 | 総製品生産量が減少した結果、絶対値は増加したので、二酸化炭素総排出量の削減に貢献できなかった。 |
| 該当環境関連法規等の遵守及び制定・改廃状況 | 該当環境関連法規等については、遵守している。 |
| 教育・訓練の実施状況 | 介護事業部も含め、静岡市環境保全推進協力会等の講習会に参加したり、NPO法人のコンサルタントからレクチャーを受けたりして、従業員の教育や訓練を積極的に実施している。 |
| 外部とのコミュニケーションの状況 | 自治会活動への参加と援助、静岡市環境保全推進協力会への参画、及びNPO法人開催の環境ボランティアへの積極的に参加をしている。また、静岡市と地球温暖化防止対策の為の協働協定を締結し、地球温暖化対策に対し積極的に取り組んでいる。 |
| 規定類、手順書等の関連文書及び関連記録の最新版管理の状況 | 指揮系統を明確化し、しかも工場の生産効率向上の為、「5Sの徹底」を環境経営マニュアル等の環境項目に入れるように指示した。 |